

第130回 理事会議事録（平成20年度 第5回）

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成20年10月22日（水）19：00～21：00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 4階第4研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）野地 澄雄、山田 隆、佐藤 嘉彦
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康夫、上田 英之、木村 徳善、菊地 富士夫
（理事）徳本 進、金子 理人、国島 みどり、荻野 恭宏、安藤 努、
清水 忠、岡本 洋一、岡田 良平、小池 光、百海 延、
平賀 淳夫、吉岡 去私、斎藤 幸雄、大澤 康之
書面票決：（会長）河野 洋平
（理事）吉野 大成、
4. 出席 監事 内海 雄三
欠席監事 木村 信吉
5. 議長選出 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出 平賀 淳夫理事、岡本 洋一理事を選出
7. 書記 川添 徹広報委員を指名
8. 議 事

開 会 野地副会長が開会のあいさつを述べた。

1) 競技本部関係（配布資料：第130回理事会資料）

(1) 報告事項

菊地本部長より次のとおり報告があり、了承された。

アルペン、ノルディックについては報告事項無し

今後の予定 11月8日（土） 競技本部セミナー 社会福祉会館

11月15日（土）指定選手認定式 同上

(2) 審議事項

競技本部専門委員の追加について

菊地本部長より、競技本部専門委員の追加提案がなされ、承認された。

氏 名 松坂徹憲（ショウナンキッズ）

S A J資格 アルペンセッターA 旗門審判 準指導員

クラブ対抗駅伝の開催日程変更について

菊地本部長より、クラブ対抗駅伝の開催日程変更の提案がなされ、承認された。

変更前 11月9日（日） 変更後 11月16日（日）

理由：開催地で他団体と行事が重なったため

08 - 09シーズン競技本部指定選手候補について

菊地本部長より、競技本部指定選手候補（男子女子A、B、C、ジュニア、計22名）の提案がなされ、承認された。

チャレンジカップ会場（万座鹿沢）視察について

菊地本部長より、鹿沢スキー場の視察と打ち合わせを兼ねて、平賀理事・吉岡理事を11月2日に派遣（予算確保済み）することの提案がなされ、承認された。

片専務より協賛の打ち合わせを実施すること、及び新規協賛へは案内はがきを視察行く前に送付することの要望があり、葉書は鹿沢スノーエリアの市川社長宛てには出すことの指示があった。

駅伝大会ジュニア指定選手の参加費免除について

菊地本部長より、駅伝大会ジュニア指定選手の参加費は免除したいとの提案がなされ、中学生以

下は参加費を免除とすることで承認された。

北海道合宿の講師追加について

菊地本部長より、北海道合宿の講師に生田氏（東京美装）が参加するが、費用は県体協から出ることでの提案がなされ、承認された。

2) 教育本部関係（配布資料：第130回理事会資料）

(1) 報告事項

木村本部長より、下記のとおり報告があり、了承された。

正副委員長会議 9月18日(木) 19:00~21:00 市従会館

教育部会 9月21日(日) 16:00~20:00 VPM研究所

各委員会

企画・運営委員会 9月11日(木) 19:00~21:00 県民センタ

検定委員会 9月13日(土) 10:00~12:00 同上

強化委員会 9月15日(月) 18:30~20:30 県連事務所

強化委員会 10月 3日(金) 19:00~21:00 県民センタ

指導委員会 10月 8日(水) 19:30~21:00 県連事務所

指導委員会 10月18日(土) 10:00~12:00 同上

検定委員会 10月18日(土) 10:00~12:00 県民センタ

教育部会 10月 9日(木) 10:00~21:00 県連事務所

秋季拡大教育本部会 10月18日(土) 13:00~17:00 市従会館

参加者：スキー関係45名、パトロール・安対8名、スノーボード4名 合計57名

講演：「体幹運動と下肢の関係」について 講師：横須賀共済病院 渡部 政司氏

救急員講習会（岡田理事）

日赤救急員基礎講習会・日赤救急員養成正規講習会について、昨年までは宿泊の研修であったが今年から3日間での開催となったとの報告があり、了承された。

第1回 10月 4日(土) 逗子ホームせせらぎ 参加者22名

第2回 10月13日(月・祝) 同上 参加者22名

第3回 10月19日(日) 同上 参加者22名

千葉・神奈川技術選手権大会・合同運営委員会の開催について

期日：10月 7日(火) 19:00~21:00 場所：八重洲ブックセンター

南関東ブロック協議会

期日：10月21日(火) 18:30~21:00 場所：SAT事務所

今後の予定について

イ) 南関東ブロック研修会理論 10月31日(金) 18:30~21:30

ロ) 指導員研修会理論、検定員クリニック 11月 2日(日)

ハ) 指導員養成講習会理論 11月 8日(土)、22日(土)

ニ) スノーボード指導員養成講習会理論 11月16日(日)

(2) 審議事項

オフトレ日程変更について（9/6理事会で承認済）

木村本部長より、オフトレ日程の第2回10月25日イエティの参加者が少ない為、第3回11月15日の丸沼高原に集約して（参加17名）実施する旨の提案がなされ、承認された。岡本理事より補足説明として、雪が少ないとのテレビの放映があり参加者申し込み者が10名から3名に減った旨の報告があった。

強化合宿の開催場所変更について

木村本部長より、強化合宿の内12月の志賀高原開催から北海道カムイスキーリンクへ変更したい。その理由は旅費が志賀57000円、カムイ55000円と安く、リフト代も安い。また雪が豊富にあるので変更提案がなされ、承認された。

続いて、1月の白馬五竜の場所変更については、期日が静岡県技選と重なったため会場変更を検討中と報告があった。

佐藤副会長からは、47スキー場で開催は出来ないか？泊まりの行事はなるべく場所を変えないで検討してほしいとの意見が出され、木村本部長は検討したが適当なバーンが確保できないと

の答弁がされた。片専務より静岡県技選の進行具合を考慮し、五竜での開催を検討することの指示があった。

スノーボード指導者養成講習会理論会場の変更について

木村本部長より、11月16日(日)スノーボード指導者養成講習会理論会場を県社会福祉会館から川崎市教育文化会館に変更提案がなされ、承認された。

今年度の準指受験について

木村本部長より、今年度の準指受験者に小田原スキー協会よりチャアスキーヤーの受験希望がありますが受験させることの提案がなされ、山田副会長からはSAJでも実績があるので受け入れるべきである。また、佐藤副会長からはSAKとして障害者を受け入れる姿勢を内外に明確に示すこと、活字にして残すことで、承認された。

3) 総務本部(配布資料 第130回理事会資料)

(1) 報告事項

各担当理事より報告があり、了承された。

慶弔関係(上田本部長)

鈴木隆士氏(川崎スキー協会) 弔電

資金運用状況(金子理事)

- ・9月末預金残高について前年度との比較で報告があった。

平成19年度 2,883,071円

平成20年度 17,561,931円

*昨年と比較し登録時期が8月から始まっており、2か月分前倒しになっている

登録状況(荻野理事)

- ・会員は9月末時点で4975名(一般4593、中学219、高校124、大学他 38)
 昨年の閉めの段階からマイナス15%。10月になって30名ほど追加が来ているので今後まだ増える見込みであり、予測では、5000名を超える程度となるとみている。
- ・団体登録は、昨年266に対し、まだ、236なので増えると見ている。

各種委員会

イ 電子申込委員会(徳本理事)

- ・申込17日から公開、順次HPにUPする予定

ロ) 普及振興委員会(吉野理事)

- ・ジュニアツアーバス見積中、菅平高原へ協賛アプローチ中

ハ) 協賛会員拡大委員会(荻野理事)

- ・新規協賛3社増(アルベックス様 2万円、ロータスインターナショナル様 3万円、神戸クリニック様 10万円)

ニ) HC委員会(国島理事)

- ・10月10日時点の賛助会員63件、21万4千円
 セミナーの修了書に県連名を加える作業を実施中。
 「ゆめ国体」最後の助成金30万円の入金があった旨報告があった。

ホ) 北海道委員会(上田本部長)

- ・吉野理事の補佐として金子理事を任命することとした。

ヘ) ウェア委員会(上田本部長)

- ・22日現在の申込状況は計70名である。

広報委員会(安藤理事)

- ・第2回の広報委員会を開催、雪上行事の参加調整及びSAKだよりのあり方を検討。

事務局開局時間の変更について

徳本事務局長より、当分の間毎木曜日は18時までとする。

厚木市スキー協会30周年記念式典について

上田本部長より、厚木市スキー協会30周年記念式典が10月26日(日)に開催案内あり。

横須賀スキー協会60周年記念式典について

上田本部長より、横須賀市スキー協会60周年記念式典が11月15日(土)に開催案内あり

20年度事業一覧及び行事報告書の配布と作成について(配布資料参照)

徳本事務局長より、20年度事業一覧及び行事報告書の配布と作成のお願いがあり、書式データ

をメールで配信する。

県体協、県教育委員会への資料提出について

徳本事務局長より、県体協及び県教育委員会への報告資料は提出済みの報告あり。

常務会及び南関東ブロック協議会の開催報告について

上田本部長より、常務会を10月10日に開催し、南関東ブロック協議会を10月21日に開催されたとの報告があった。

(2) 審議事項

功労指導員の推薦について次の事項について（配布資料参照）

徳本理事より、功労指導員の推薦について、功労指導員9名、功労準指導員4名、功労検定員3名を9月末日にS A Jへ申請したことの事後提案がなされ、承認された。

研修会費用免除願いについて（配布資料参照）

荻野理事より、研修会費用免除願いについて、別表に2名追加（宿利幸美、岩井幸子）計14名で、理由は育児並びに海外出張であることの提案がなされ、承認された。

平成19年度消費税額について

金子理事より、平成19年度消費税額は132,600円で、会計士に確認後支払済みの報告提案がなされ、承認された。

専門委員追加推薦について

徳本事務局長より、専門委員追加推薦について、H C町田智子（相模原）、大神田英次（相模原）の提案がなされ、承認された。尚、資料上の久山、堀、山下、江口、松坂氏は推薦状が届き次第申請することの報告があった。

川崎ふれあいネットへの登録について

安藤理事より、指導員研修会の会場確保のため、「川崎ふれあいネット」への登録を行なうことの提案がなされ、承認された。

ハンディキャップセミナーの会場変更について

国島理事より、ハンディキャップセミナーの期日を11月9日から11月23日に及び会場を三ツ沢に変更する旨の提案がなされ、承認された。

広報誌「S A Kだより」アンケートの実施について

安藤理事より、広報誌「S A Kだより」の配布状況の実態や今後の検討材料とするため11月2日の指導員研修会でアンケートを配布する旨の提案がなされ、承認された。

副会長、専務、常務、総務本部の行事参加について（資料:役員出席一覧表）

徳本理事より、20年度行事参加について、次回理事会までに配布資料に出欠可否を記入することの提案がされた。片専務から行事参加の基本的な考え方について、「大きな事業については、副会長、専務、常務がダブって行くことがあるが、予算が逼迫しているので、副会長が責任者として出席する行事は立会い者と兼務でお願いしたり、いろいろな手当てを講じる。また、監事は去年から4回/年に絞ってもらっている。小さな行事については本部長を中心に事業を展開してください。特に競技の場合に多いが、安全対策に必要な人数を確保すること。人員の割り当てについては調整を行い次回の理事会で最終決定する。」との説明がされた。

4) その他

特になし

閉 会 山田副会長が閉会のあいさつを述べた。

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成20年10月31日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印